

南風

学校だより「みなみかぜ」

令和7年2月25日

上越市立南本町小学校

No. 527号

<http://www.s-honcho.jorne.ed.jp/>



篤志好学 ～思いやりをもち進んで学ぶ子～

□ 雪国で育つ

2月に入ってからの降雪は、高田らしい景色になった喜びと、雪害等の心配な状況をもたらしました。保護者・地域の皆様からは、通学へのご支援・ご協力をいただきありがとうございました。おかげさまで、皆、元気に登校できました。

1メートルほどの雪が積もったグラウンドは、子どもたちにはうれしい遊び場です。寒い中登校した子どもたちは、休み時間になるとすぐに恋しい雪を求めてグラウンドに行き、雪遊びに精を出していました。寒さの中でも、純白の広い敷地は子どもの「元気」が満ちた温かな場所になっていました。

強風や雨などで外に出ることができない日のために、児童会の生活委員会が校内での遊び場を提案しました。「わくわくランド」と名付けられた視聴覚室には、けん玉やこま、メンコなどが準備され、学年を超えて「教える・教えられる」の関係が自然に生まれたり、「何度も挑戦する」姿が描き出されたりしています。南っ子ギャラリーのある廊下は、「縄跳びエリア」です。「夢中になって」上達を目指す姿にたくさん出会えます。図書館や体育館でのかかわりの中で育つ姿もうれしく思っています。

子どもが学ぶ・学び合う姿は活動が導く主体性から生まれること、イベント的・単発的な物事に頼らなくても身近な日常に学びの時と場があること、知恵を出すことにより楽しみが生まれる・創られること、「アナログ」の伝統的な遊びのよさを大切にすることなどを改めて感じたり考えたりする機会にもなりました。

後期学校評価の概要

12月に令和6年度後期の児童・保護者アンケートを実施しました。ご協力をいただき、感謝申し上げます。紙面の都合で全てをお伝えすることができませんが、概要をお伝えします。

・表の「児」は児童アンケート、「教」は教師アンケート、「保」は保護者アンケート
・数値は、肯定評価の割合

まなび 「進んで学び合う子」

目指す成果	前期	評定	後期	評定
友達の考えと同じところや違うところを活かして自分の考えをもち、伝えることができる児童 85%以上	児 89.8 教 100	A	児 91.4 教 100	A
共感的な態度で友達から話を聞いてもらうことができる児童 85%以上	児 96.8 教 100	A	児 95.7 教 100	A
自分の学びを振り返り、次の学びに生かすことができる児童 85%以上	児 96.1 教 84.0	B	児 94.0 教 95.0	A

【来年度に向けて】

- 話の内容を理解することに結び付く聞き方の指導を継続し、自分の考えを聞き手に分かりやすく話す力の向上を目指します。
- 多様な考えが生まれるような課題や学び合う場の設定を継続していきます。
- 自分の学びや成長が実感できる「振り返り」場面を継続的に設け、次の学びへと生かしていけるようにします。

こころ 「認め合い、支え合う子」

目指す成果	前期	評定	後期	評定
自分や友達にはよいところがあると考えている児童 80%以上 自分のことが好きと考えている児童 80%以上	児 98.9 児 78.0	B	児 95.6 児 84.3	A
友達を傷付けるような言葉を言わず、ふわふわ言葉を使うようにしている児童 80%以上	児 95.2 教 74.0	B	児 97.8 教 95.0	A
意欲的に学校行事や地域行事に参加したり、係活動や委員会活動に取り組んだりした児童 80%以上	児 99.0 教 100	A	児 97.9 教 100	A

【来年度に向けて】

- 「自分や友達にはよいところがある」と考えている児童が多いものの、「自分のことが好き」と肯定的に回答した児童は、目標値と同程度でした。さらに自尊感情の育成に向けた取組に努めます。児童が自分のよい点や努力点について受け止めながら、よりよい自分を目指すよう、各家庭でも声掛け等お願いします。
- 児童自身は「ふわふわ言葉を使うようにしている」と考えていますが、実際には友達を傷付けるような言葉が聞かれることもあります。児童が自分自身の言動を考えられるようにするとともに、振り返りを重ねながら、相手の気持ちを考えた言動がとれるよう、意識を高めていきます。
- 意欲的に学校や地域の活動に取り組んでいる児童が多いです。これからも地域のよさを感じたり見付けたりできる活動を、教科等の様々な活動に位置付けていきます。

からだ 「健康づくりを進める子」

目指す成果	前期	評定	後期	評定
家の人とメディアの約束や時間を決め、それを守っている児童が 75%以上	児 81.9 教 84.0	B	児 80.0 教 75.0	B
「病気やけが、事故に気を付け、安全な生活を送っている」と答える児童が 90%以上	児 95.2 保 99.2	A	児 98.4 保 99.1	A
具体的なめあてをもち、進んで運動に取り組む児童が 90%以上	児 88.3 教 95.0	B	児 93.5 教 100	A

【来年度に向けて】

- メディアに関する講演会などの機会を設定しながら、メディアとの適切な付き合い方やメディアの弊害について、引き続き児童に伝えていきます。ご家庭でもメディアに関する約束を守れるよう、親子で話し合ってください。
- 「安全な生活を送っている」ことについて、児童の肯定的な評価が高まりました。昨年度に

比べ、廊下を走る児童が少なくなってきました。大切な自分や友達の身を守るために、廊下を歩くことなど、安全な学校生活、家庭生活について全校への指導を継続します。

学校の取組について

質問項目	前期	後期
学校は、学校便りや学年便り等で、学校での活動の様子について十分情報を発信していますか。	保 98.4	保 97.4
学校は、認め合う心の育成や学力向上に向けて努力していると思いますか。	保 93.4	保 96.6
学校は、地域や家庭と協力して、健やかな子どもの育成のために努力をしていると思いますか。	保 93.4	保 99.1

【来年度に向けて】

- 引き続き、丁寧な情報発信を心がけ、子どもの姿から学校での様子が伝わるように努めていきます。ご心配なことなどがありましたら、学校にご連絡ください。

- 登校班の集合時刻を守らない人がいる。これから雪が降って来るので、きちんと守ってほしい。
- 登校班の集合時刻を守らないで来る人がいる。保護者もついて来て、その場で立ち話をしている。保護者がついて来るなら、集合時刻を守ってほしい。
- コンビニに子どもだけで入っておやつを買っている。

【来年度に向けて】

- 町内子ども会などの機会をとらえ、集団登校の意義や時間を守ることの大切さ及び地域での過ごし方について指導していきます。ご家庭でも集団登校の大切さについて確認していただくとともに、「早寝・早起き」を心掛け、保護者の皆さんでも声を掛け合いながら集合時刻に集合場所に集まるようお子さんを送り出してください。また、事件や事故から身を守るためにも「南っ子のやくそく」をもとに、地域での過ごし方について各家庭でのご指導をお願いします。

- 自学用のプリントなどを出していただけると助かります。何でもいいです。やることがないと言って、やる気を出さないのです。
- 現在、制服で登校して学校生活中は体操着に着替えています。帰りに児童クラブに行く子はまたクラブでも着替えをしています。(クラブでも体操着でよいのではと思いますが)
- 1～3年生は11月から毎週金曜日が14時下校になりましたが、仕事の都合もあり、帰宅時間が早くで困っています。来年度も同じようにするのでしたら、2・3年生は6限の曜日を5限にしてほしいです。

【来年度に向けて】

- 貴重なご意見をいただき、ありがとうございます。ご意見を参考に、来年度の教育活動の検討を進めていきます。

- いつもありがとうございます。毎日安心して通わせることができます。
- 我が子が授業のノートを見せてきて、楽しい授業の話を説明してくれます。担任の先生や学校の話が絶えません。担任の先生が子どもたちに対していつも穏やかに丁寧に関わっていただいていることが子どもから伝わってきます。些細な事も丁寧に報告していただけて本当に安心できます。先生との出会いに感謝申し上げます。
- 先生方に助けていただけると感謝しております。ありがとうございます。
- 担任の先生が細かく見てくださり、保護者との情報共有もあるので安心していきます。日々子どもへの対応に感謝しかありません。いつもありがとうございます。
- いつも楽しそうに学校へ行っています。ありがとうございます。
- 子どもの話から、一人一人のよさを認めてくださったり、丁寧に指導していただいたりしている様子が伝わってきます。おかげ様で楽しく学校に通っています。

【来年度に向けて】

- ・たくさんの温かい言葉をいただき、感謝申し上げます。紙面の都合上、全て掲載することはできませんが、子どもの健康面・安全面を第一に、内容に応じた諸条件を考慮して教育活動を推進していきます。来年度も家庭と学校が方向を同じくして、学校でできることと家庭でできることを共有しながら、指導・支援に当たっていきます。今後も、ご心配なことがありましたら、お知らせください。

確認をお願いします

携帯電話・スマートフォン等の使用に端を発する問題により、子どもたちが被害者や加害者になるケースが出ています。保護者の責任の下、スマートフォン等の内容のチェックや使い方の約束の確認をお願いいたします。